

R6開始

かみまち

加美町(宮城県)

主な品目

- 水稲



実施体制

加美有機農業推進協議会(加美町、JA加美よつば、宮城県大崎農業改良普及センター、有機農業生産者団体、販売流通事業者、直売施設)

面積情報

有機農業取組面積:53.1ha
耕地面積に占める割合:0.9%
(令和5年度時点)

1 背景・課題

加美町では、これまで水稲を中心に有機農業の取組を行ってきたが、近年、後継者不足や栽培技術の継承が進まず、取組面積が減少傾向にあり、栽培技術の向上や後継者の確保等が急務となっている。

2 成果目標

有機農業の取組面積の拡大

R5年度 53.08ha → R11年度 60ha

有機農業に取り組む農業者数の増加

R5年度 17経営体 → R11年度 20経営体

学校給食での有機農産物の年間利用回数

R5年度 0回 → R11年度 4回

3 主な取組内容

生産

- 生産者向け栽培研修会の開催
- 自動抑草ロボットによる水田の雑草抑制検証
- 有機JAS認証の取得経費に対する支援
- 先進地視察による新しい知見の獲得



生産者向けに自動抑草ロボットによる水田の抑草についての栽培研修会を開催(R6)。

加工・流通・消費

- イベントへ出展し有機農産物をPR
- 加工・流通事業者との意見交換会を実施
- 学校給食への有機米提供



自動抑草ロボットを試験導入して水田の抑草効果を検証中(R7)。



町内の小中学校、保育園、幼稚園及びこども園を対象に有機米を提供することで有機農業を周知(R6)。

4 これまでの成果

学校給食での有機農産物等の活用促進のため、有機米の提供を実施。R6は小中学校及び幼稚園等で年1回の有機米給食を実施。

【学校給食での有機農産物の年間利用回数】
R5年度 0回 → R6年度 1回

5 今後の展望

今後は、課題の解決に向け、スマート農機の導入による作業の省力化や、面積の拡大と技術水準の向上により、有機農産物の安定生産を実現し、学校給食への有機農産物供給量の増加に取り組むほか、県内他市町村との連携した消費拡大にも取り組む。

問い合わせ先

加美町農林課 TEL:0229-63-3408